

◇視聴報告まとめ<2017年1月22日号>◇

テレ朝「新報道 2001」

○ホテル客室本で広がる波紋 中国サイトに批判殺到

中国人観光客が「ウェイボー」に投稿した動画が波紋を呼んだ。アパホテルの客室内に置かれた書籍を見て宿泊を取りやめる様子の動画。中国外務省が「中国に来て南京大虐殺の記念館を見て両親を取り戻してもらいたい」とホテルを非難。その後アパホテルの予約サイトがアクセス困難に。悪名高い中国のサイバー攻撃なのか？これを受けてついに菅官房長官までがコメントすることに。「過去の不幸な歴史に過度な焦点を当ててではなく、未来志向で取り組んでいる姿勢を示すことが重要であると思います」アパホテル側は「異なる立場の方から批判されたことをもって本書籍を客室から撤去することは考えておりません」。

平井氏「この手の歴史問題というのはいつもパターンが決まっていますね、まず日本のマスコミが騒ぐんです。非常にこの反日的な、日本を貶めるような報道をして、それを見た中国や韓国の政府やマスコミが騒ぐんです。それに対して今度は日本の政府がこれは非常に毅然とした態度をとらない、という、いつものパターンがあるんですが今回も、岸さん、やや、アジア大会の組織委員会が、余計なことを言ったりして、ちょっとそういう部分はありますが、是非ですね日本政府は、毅然とした態度をとりつつむしろ、中国がサイバー攻撃をしてるならね、それはやめさせると、というようなことをしてもいいんじゃないですか」

岸田外相「サイバー攻撃となると話の次元が違ってきますが、本来この事案は民間企業の話なので、それに対して政府が何を言うかというのは、立場をしっかりと考えて発言しなければなりませんと思いますが一般論として言うならば、さきほど（VTRで）菅官房長官の発言にもありましたが、日中関係は2千年の長い歴史があるわけですから、過去の一時期の歴史に過度に焦点を当てることによって歴史を捉えるのは如何なものか、やはり全体をしっかりと考える、なおかつ未来に向けてどうあるべきか、そういった日中関係を、戦略的互惠関係に基づいて進めていく、これがあるべき姿ではないか。この基本はしっかりと訴えていかなければならないと思います。」

（検証者所感）

「アパホテルの客室本」の問題についての平井氏のコメントはネット上でも話題になっているが、確かに「よく言った」と言えるものだろう。こうした意見もテレビ電波にどんどん乗るようになって、風通しのよい報道が増えることが望ましいと思う。この発言での平井氏

2017年1月22日

のスタンスは政権側というよりも右派野党的なものと考えられ、この件の報道に多角性をもたらしたものとも言えよう。岸井外相に期待することとして出井氏は、中国をもっと気遣って距離を縮めるよう要望したように受け止められる発言をしたが、これに対して石平氏が一言述べた「ちょっと中国に怖がられる政権が良い政権」との言葉が議論にバランスをもたらしたと感じた。